

週間漁海況情報 2023年第9号

令和5年2月28日発行

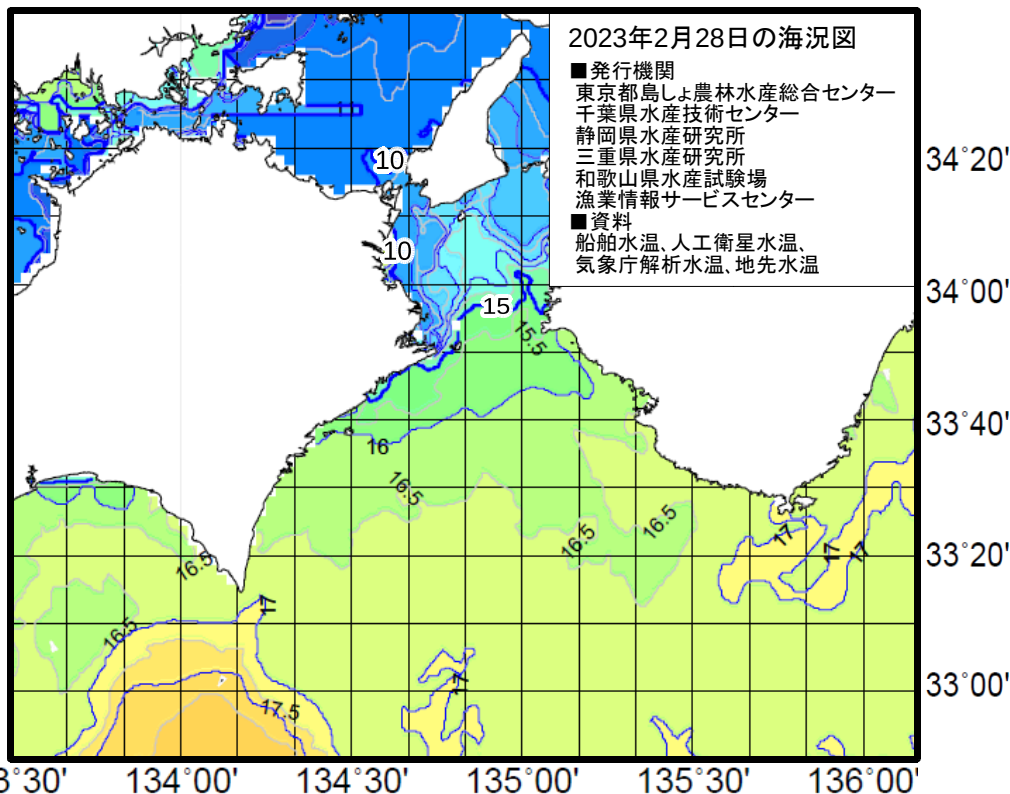
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖70マイル、潮岬沖195マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」。黒潮は大蛇行でS字カーブを描いているが、東へ流れる本流とは逆に、西へ向かう分枝流が紀伊半島東から南下している。それにより、室戸岬の東側には時計回りの暖水がある。

黒潮の表面水温は19～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘9～10℃台、紀伊水道が10～13℃台、海部沿岸が13～16℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

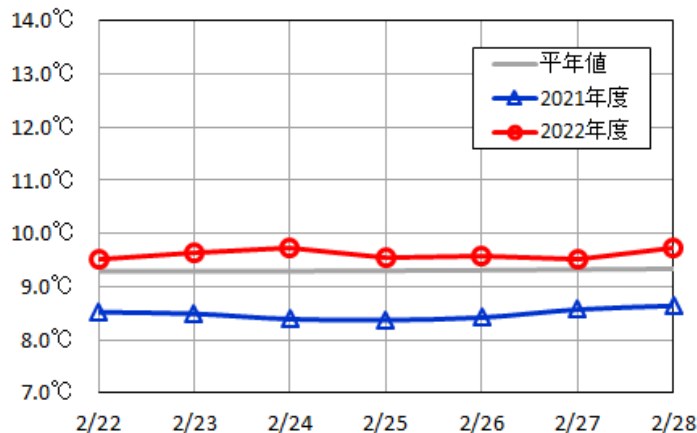
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

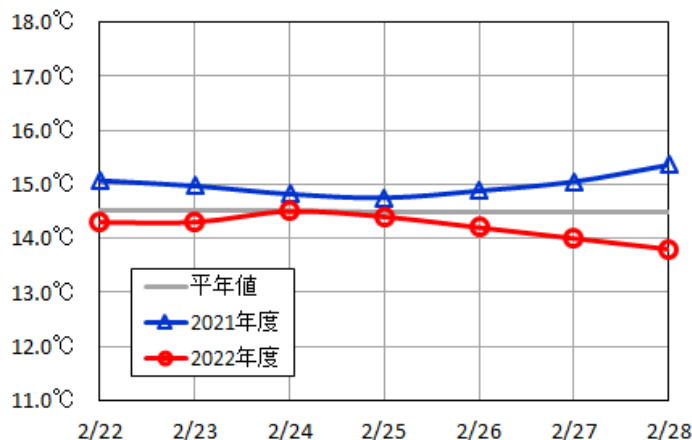
2. 地先水温(2月22日～2月28日)

鳴門地区の水温は、9.5～9.7℃で「平年並み」、日和佐地区は13.8～14.5℃で、「平年並み」から「やや低め」で推移。鳴門と日和佐地区の水温差は4.0～4.8℃で、先週とほぼ同じであった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(3月1日～3月7日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも、「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (2月20日～2月26日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

釣りでは、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。
 延縄では、ブリがめじろ級主体に1.5ト、サワラが増えて大主体に0.5ト水揚げされた。
 建網では、メジナが大きく増えて0.4ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが減って0.9ト、ブリが大きく増えて0.8ト水揚げされた。
 底びき網では、かます類が大きく増えて2.4ト、えそ類が増えて0.3ト、コウイカが増えて大主体に0.3ト、マダイが増えて大主体に0.2ト、シリヤケイカが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、タチウオが大きく増えて0.9ト、ブリが大きく増えて大主体に0.5ト水揚げされた。
 建網では、ヒラメが大きく増えて0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、カタクチイワシが大きく増えて1ト、メジナが大きく増えて0.3ト水揚げされた。
 大型定置網では、ブリが大きく減って0.4ト、マルソウダが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.20 トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	釣り	10	ブリ	262	26	めじろ級主体	↗↗
	延縄	36	ブリ	1,514	42	めじろ級主体	→
		25	サワラ	455	18	大主体	↗
	建網	35	メジナ	403	12		↗↗
	小型定置網	11	マアジ	862	78		↘
		13	ブリ	780	60		↗↗
	底びき網	19	かます類	2,448	129		↗↗
		18	えそ類	303	17		↗
		19	コウイカ	274	14	大主体	↗
		13	マダイ	205	16	大主体	↗
16		シリヤケイカ	204	13		↗↗	
海部沿岸	釣り	14	タチウオ	943	67		↗↗
		10	ブリ	479	48	大主体	↗↗
	建網	28	ヒラメ	266	9		↗↗
	小型定置網	16	カタクチイワシ	1,025	64		↗↗
		9	メジナ	282	31		↗↗
	大型定置網	4	ブリ	350	88		↘↘
2		マルソウダ	219	109		↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘